

PrimoでのAlmaレコードの収集と公開

Note

Primo VEを使用している場合、詳細については「[Primo VE](#)」を参照してください。

[メニューに戻る](#)

PrimoでエクスポートされたAlmaデータを収集できるようになる前に、Primoで機関、データソース、正規化ルール、および公開パイプを設定する必要があります。機関の設定の詳細については、「[Primo機関の設定](#)」を参照してください。以下のセクションでは、データソースを定義し、正規化ルールを設定し、Primoでレコードを公開する方法について説明します。

Almaをデータソースとして定義する

AlmaはMARC21とDublin Core (DC) メタデータを管理し、Primoに公開することができます。MARC21とDCデータの両方をAlmaで管理する場合、データを正しくロードするには、データソースごとに個別のデータソース、正規化ルール、およびパイプをPrimoに設定する必要があります。

Almaからレコードを収集するには、PrimoでAlmaデータソースを定義する必要があります。

Almaデータソース (MARC21またはDC、あるいはその両方) を定義するには：

1. Primoのデータソースページを開きます([\[継続的な設定ウィザード\]](#) > [\[パイプ設定ウィザード\]](#) ページ > [\[データソース設定\]](#))。
2. リストでAlma機関の横にある[\[編集\]](#)を選択します。

[\[データソースの属性\]](#)ページが開きます。

Data Sources

Data Source Attributes

Source Description	Owner: VI University	Source name: ALMA-BC	Source code: ALMA-BC
Source Definition	Source format: MARC21	Description: Alma-BC	Original Source Code OIBC_INST
	Source system: Alma	Version 	
	File Splitter: OAI splitter	Character Set: UTF-8	Input Record Path record
	<input type="checkbox"/> File needs transformation	Transformation file name 	XREF keys LCCN OCLC ISSN ISBN

Created Aug 26, 2012, Last updated Aug 26, 2012 By Admin

[Cancel & Go back](#) [Save & Continue](#)

To Data Sources List To Data Sources List

[\[データソースの属性\]](#)ページ

3. データソースを設定します。Almaデータソースには次のフィールドが不可欠です。

- ファイルスプリッター – **OAI**スプリッターを選択します。
- ソースシステム – **Alma**を選択します。
- 文字設定 – **UTF-8**を選択します。
- ソースフォーマット – **MARC21**または**DC**を選択します。
- 元のソースコード – **Alma**機関コードを入力します。
- 入力レコードのパス – レコードを入力します。

4. [保存して続行]を選択します。

正規化ルールのセットを作成

正規化ルールは、ソースレコードをPrimo PNXレコードに変換する方法を決定します。新規インストールの場合、次のテンプレートをコピーして、Alma (MARC21およびDC) でサポートされているデータのタイプごとに一連の正規化ルールを作成することをお勧めします。

- **Alma アルマ MARC** - テンプレート – MARC21データをロードし、Almaをオンラインで操作するために必要なすべての定義が含まれています。**Alma MARC** - テンプレートの詳細については、「[Alma MARC 21](#)」を参照してください。
- **Alma Dublin Core** - テンプレート – DCデータをロードし、Almaをオンラインで操作するために必要なすべての定義が含まれています。**Alma Dublin Core** - テンプレートの詳細については、[Alma Dublin Core](#)を参照してください。

移行を実行している場合、既存の正規化ルールのセットのコピーを作成し、次のPNXフィールドを追加または変更することをお勧めします。たとえば、**Alma MARC** - テンプレートのテンプレートを使用している場合：

- **制御/almaid** – このフィールドには、Alma機関コードとAlmaシステム番号(MMS ID)の組み合わせが含まれます。
- **Dedup/C5** – マッチングに使われるMSS IDを追加します。

Note

Almaは、Almaの同じMMSレコードからの配信タイプごとに、個別のレコードをPrimoに公開します。Primoで複数のレコードが表示されないようにするには、重複排除を有効にし、AlmaレコードのMMS識別子をPNXレコードのdedup/C5フィールドにマッピングする必要があります。

-
- **配信/delcategory** – Almaの配信は、配信タイプ**Alma-E**(電子出版)、**Alma-P**(印刷物)、**Alma-D**(デジタル資料)に基づきます。
 - **配信/機関** – このフィールドは、Almaの[組織単位の詳細]ページの[概要]タブからマッピングされたINST \$\$aおよびAVE \$\$iINSTから作成する必要があります([アドミン] > [一般的な設定] > [設定メニュー] > [図書館] > [機関の図書館の管理])。
 - **表示/作成者**、**表示/提供者**、**表示/主題** – 見出しの充実化が閲覧できるようになっている場合、作成者と提供者のフィールドが非優先見出しから作成されないようにする必要があります。
 - **表示/avallibrary** – このフィールドはAlmaで公開されるAVAフィールドから作成する必要があります。
 - **表示/タイプ** – Alma_Typeマッピングテーブルは、Alma-D配信カテゴリに使用されます。さらに、[ECT](電子コレクションタイプ)フィールドがデータベースに設定されている場合、データベースのリソースタイプが作成されます。

- ファセット/トップレベル – Alma-EおよびAlma-Dをonline_resourcesとして含みます。
- ファセット/AtoZ – このファセットは、A-Zリスト用に作成する必要があります。
- ファセット/コレクション – コレクションファセットは、AlmaがAlma-Dレコードに含めるCOLフィールドから作成できます。
- ファセット/creatorcontributorおよびファセット/トピック – Primoバージョン4.1以降のリリースは、ブラウズ機能を含みます。見出しの充実化が閲覧できるようになっている場合、[作成者]と[提供者]のフィールドが非優先見出しから作成されないようにする必要があります。
- リンク/サムネイル – Alma-D配信カテゴリのリンクを追加する必要があります。
- リンク/linktosrc – リンクはAlma-Pのための856フィールドから作成されます。これは、Almaへの変換でAlma-Eレコードを作成できなかった場合に行われます。
- リンク/linktoholdings – 存在する場合は無効にする必要があります。
- リンク/バックリンク – Almaには、Almaレコードにリンクするためのエンドユーザーインターフェイスがないため、このフィールドは無効にします。
- 検索/searchscope – 必要であれば、Almaデータの検索のための検索範囲を定義します。さらに、A-Zリストに範囲を追加する必要があります。
- 検索/一般 – MSSを含む001を追加します。
- ブラウズセクションの全フィールド – ブラウズ機能に使用されます。詳細については、「[ブラウズセクション](#)」を参照してください。

配置、ロード、索引(Alma固有ではありません)

機関、図書館、Almaデータソース、強化ト、正規化ルールなどを設定した後、システムに変更を適用し、Almaによって公開されたレコードを正規化する必要があります。

これらの手順はAlmaに固有のものではなく、Almaに特別な注意を払う必要はありませんが、Almaがサポートするソース(MARC21およびDC)ごとに個別のパイプが必要になります。詳細については、「[公開プラットフォームパイプフローの設定](#)」を参照してください。

レコードがAlmaから公開された後にAlmaレコードをPrimoにロードするには：

1. Primoバックオフィスで、すべてを配置を実行します。
2. まだ作成していない場合、Almaデータの収集と読み込み用の公開パイプを作成します。詳細については、[パイプの定義](#)を参照してください。

Note

Almaで定義されたS/FTP接続を使用します。詳細については、[S/FTP接続の設定](#)を参照してください。

3. 公開パイプを実行します。詳細については、[パイプの監視](#)を参照してください。
4. **Indexing_and_Hotswapping** プロセスを実行します。詳細については、[プロセスの監視](#)を参照してください。
5. Almaで継続的な公開を設定した後、Almaからの継続的な更新のためにパイプをスケジューリングします。
6. 継続的な索引付けをスケジューリングします。